

# 日本青年団 新聞

2015年 10月1日発行  
第100巻 第10号

編集・発行 日本青年団協議会  
〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-23-6  
秀和虎ノ門三丁目ビル4階  
TEL.03-6452-9025  
大正5年2月10日第三種郵便物認可（毎月1回1日）  
振替口座 00140-6-37229  
年間2,200円 1部200円（送料・消費税込）



仲間とともになしとげた夏祭りに達成感もひとしおだ

## CONTENTS

### COVER STORY

若者の集う場は若者がつくる 2 ページ

### ACTION

- ◆これからの世代へ伝えていく (岩手県) 3 ページ
  - ◆青年7人からつくり上げた (群馬県)
  - ◆伝統のまつりと新たな祈り (石川県)
  - ◆子どもたちと夏の思い出企画 (香川県)
  - ◆地元の郷土芸能が復活 (熊本県) 4 ページ
  - ◆ひと夏限りの青年団も活躍 (鹿児島県)
- ◎連載企画 わたしと教宣 vol.4

### INFORMATION

OPINION 「民主主義を取り戻す」 5 ページ

### FOCUS

わたしと仕事 6～7 ページ

### BREAK TIME

- ◎連載企画 イケ団 8 ページ
- ◎クロスワード ほか

## —若者の集う場は若者がつくる—

日本三大急流の一つである最上川が東西を走り、ゆたかな緑に囲まれた山形県戸沢村。村の南に位置する角川地区には、人口約850人が14の集落に分かれて住んでいる。かつては集落ごとに夏祭りを行っていたが、少子高齢化の風を受け開催が難しくなっていた。そんな現状を見つめ、若者たちが「角川地区をもっと元気にしたい」との思いで結成されたのが角川元気プロジェクトだ。集落を越え、角川地区全体の夏祭りとして企画した「TSUNOKAWA Summer Party」は今年で2年目をむかえ、地域に新たな風が吹いている。今回はその取り組みを取材した。